

告示16日 開票21日 選挙 弥彦村議選

定数10に現職新人各7人

赤川、田中氏は引退、本多氏も？

届け出書類 4年ぶりの最激戦 事前審査

弥彦村選挙管理委員会(堀内岳郎委員長)は十一日午前九時から十一時まで役場大ホールで弥彦村議会議員一般選挙の立候補届け出書類の事前審査を行った。定数十に対して、現職、新人合わせて十四陣営が審査を受け、四人超過の激戦の見通しとなっている。

任期満了に伴う村議選は十六日告示、二十一日投票、即日開票される。

立候補を予定している

のは現職、新人各七人。三月二十六日に開いた立候補予定者説明会に出席した十四陣営すべてが審査を受けた。

現職で立候補を予定しているのは、議席番号順に板倉恵一(六九)弥彦、柏木文男(七〇)山崎、安達丈夫(七二)矢作、本多隆峰(六四)麓、小熊正(七〇)峰見、花

井温郎(五二)弥彦、武辺昭(五三)弥彦、無職石雅之(七〇)麓の各氏。

赤川幸子氏、田中満男氏は今限りでの引退を表明したほか、本多啓三氏も引退の見通しとなった。

新人は五十音順に専業書家中ら(六四)弥彦、PART那須裕美子(四三)川崎、無職古川七郎(七三)美山、運転手丸山太田志(六八)弥彦、会社役員丸山浩(四五)弥彦、自営業渡

各氏。丸山太田志氏は説明会の段階では検討中だったが、この日、立候補の順番に審査を受けた。この日は開始時間前から次々と立候補予定者本務課職員三人が立候補届け出書、宣誓書、選挙事務所設置届などの記載内容、選挙ポスターのサイズなどを確認。書類に不備がある場合はその場で訂正してもらい、ポスターなどを用意していない陣営には改めて注意事項を説明した。

告示の十六日は午前八時半から午後五時まで役場大ホールで立候補届の受け付けを行う。弥彦村議会は平成十九年四月の村議選から定数十六人を六人削減。定数十人に対し、十三人が立候補する少数激戦になった。

ところが、二十三年の村議選は定数ちよどの十人が立候補して無投票。前回の二十七年は、一月の村長選が三十六年ぶりの選挙選となったことから関心が高まり、十二人が立候補して八年ぶりの選挙戦となった。

今回の四人超過は定数十・四倍の最激戦となる。野



十四陣営が出席した事前審査の説明会

十人になって最多。倍率七・四倍の最激戦となる。野